



録画配信の
2次元コード

大沢 えみ子

日本共産党

手話が使いやすいまち／ 公共施設マネジメント計画

◆手話言語条例推進協議会の設置を

Q 当事者団体からは当事者がいない場所で決めず、様々な事業を協議する場として、手話言語条例推進協議会をつくって欲しいとの要望もあるが状況は。

A 福祉部長 手話言語条例推進協議会は設置していないが、事業を検討する際には、協議の場を設けている。協議会の設置については、まずは先駆的に取り組んでいる市町村の状況を調査していく。

◆アイ・ドラゴンの設置を

Q 自然災害やインフラの老朽化により事故が多発している中、聴覚障害者のため、避難所にアイ・ドラゴン^{*1}を設置することの考えは。

A 危機管理監 アイ・ドラゴンは手段の一つと認識しているが、防災アプリ等から情報を得る方も増えているなど、情報収集の方法が多様化している。設備設置面での検討なども含めて研究していく。

◆公共施設の在り方は地域で協議を

Q 公共施設は地域の重要な「拠点」であり、安易に統合、縮小すべきではないが、施設の老朽化が多数見受けられる。実施計画の策定にあたり早急に地区協議会などを立ち上げ、市民と一緒に「この地域や公共施設をどうしていくのか」を検討する必要があると考えるが、見解は。

A 総務部長 地区協議会の設置は、再編対象となる施設の規模や再編内容、これまで設置してきた協議会の設置事例などを踏まえ検討していく。



「目で聴くテレビ」用アイ・ドラゴン

その他のテーマ▶デフリンピック

^{*}1 聴覚障害者向けの手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」を見るために必要な専用受信機



録画配信の
2次元コード

金子 広和

創造

支援が必要な児童のため 積極的な介助員の配置を要望

◆今年度は、小学校14校に27名、中学校5校に8名の介助員を配置

Q 子どもを小・中学校に通わせている複数の保護者等からは、いつも世話を依頼されている、いわゆる『お世話係』と呼ばれている特定の児童・生徒に対する相談が寄せられているが、市の認識は。

A 学校教育部長 学校では、各行事や交流学习等の中で、支援を必要とする児童・生徒と関わりの深い児童・生徒にサポートをお願いすることがあることは認識している。

そのような中で、特定の児童・生徒が負担を感じるような状況にあるとすれば、適切に学校へ指導していくことが必要であると考えている。

◆介助員の報酬額は、時給1,139円だが、仕事の対価として適正なのか

Q 障害のある児童・生徒への世話を、特定の児童・生徒に頼るのではなく、今以上に、積極的な介助員の配置をするべきではないかと考えるが、市の見解は。

A 学校教育部長 インクルーシブ教育の理念に基づき、全ての児童・生徒がお互いを尊重して学び合える支援体制を整えるためにも、介助員の配置については、学校現場の実態を精査するなどして、より一層適切な配置に努めていく。



インクルーシブ教育の充実を